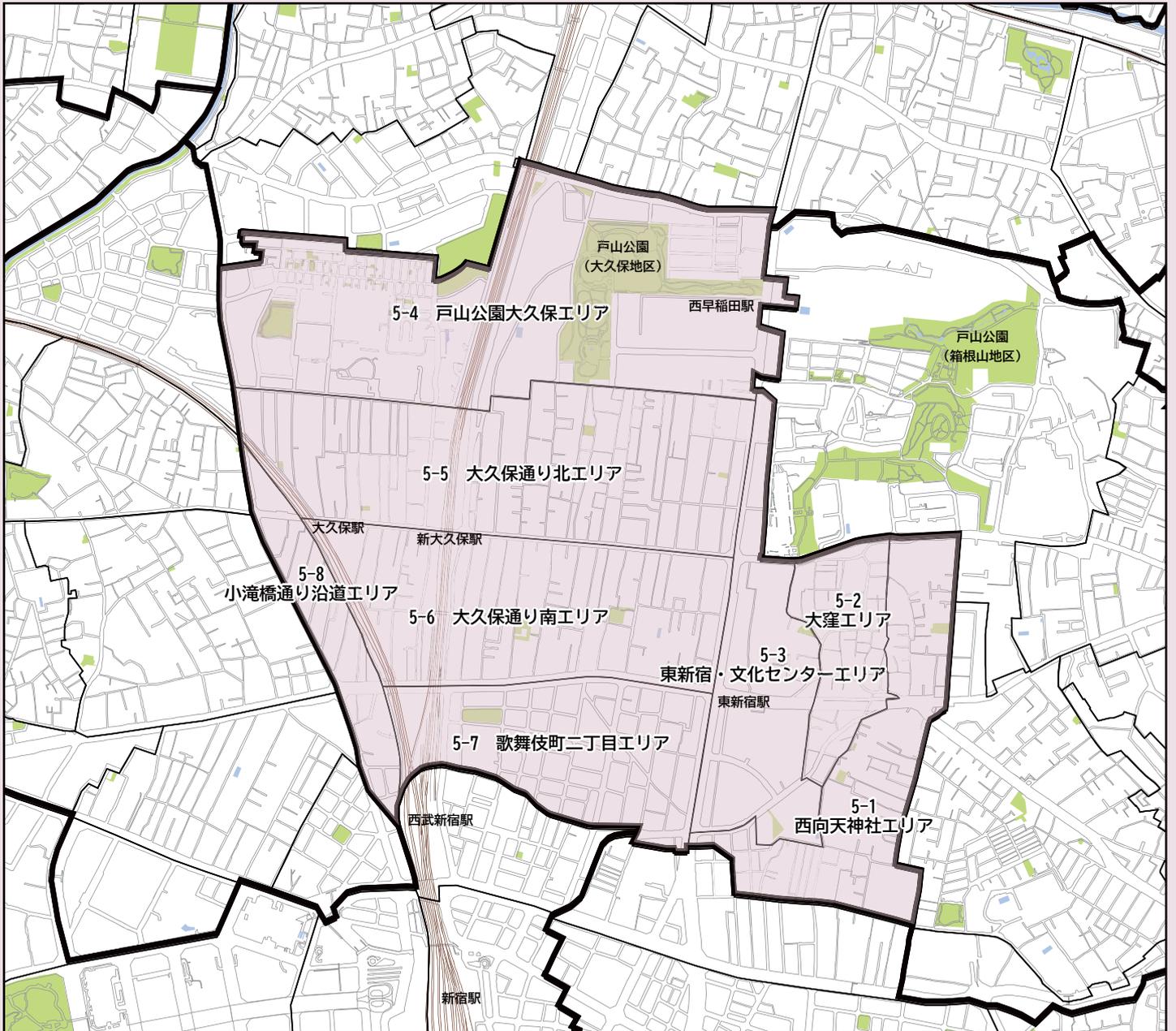


5 大久保地域

新宿区のほぼ中央に位置し、戸塚台地の北側から低地が入り込んだ地形となっています。明治通りを境に、東側には変化に富んだ地形とともに閑静な住宅地が広がっています。一方西側は、北から南へと住宅地中心のまちなみが、商業地の賑わいあふれるまちなみへと変化していきます。特に、新大久保駅周辺の多国籍の雰囲気が地域の景観を特徴づけており、大久保地域の新たな魅力として観光客などで賑わっています。



5-1 西向天神社エリア

寺社の雰囲気と調和した落ち着きと商店街の賑わいのまちなみへ

5-2 大窪エリア

窪地の地形を活かした落ち着きある住宅地のまちなみへ

5-3 東新宿・文化センターエリア

賑わいの拠点と整然とした幹線道路沿道のまちなみへ

5-4 戸山公園大久保エリア

戸山公園と大規模施設群を中心としたみどり豊かなまちなみへ

5-5 大久保通り北エリア

戸建住宅と低中層建築物が調和したみどり豊かで落ち着いたまちなみへ

5-6 大久保通り南エリア

多国籍な雰囲気と落ち着いた住宅地が共存するまちなみへ

5-7 歌舞伎町二丁目エリア

歌舞伎町らしさを保ちつつ、誰もが歩いて楽しめるまちなみへ

5-8 小滝橋通り沿道エリア

小滝橋通り沿いに広がる賑わいあふれるまちなみへ

地域の概要

変化に富んだ地形



大久保地域の地形

台地に挟まれた大きな窪地

神田川沿いの低地が新宿六・七丁目、歌舞伎町まで伸びてきて、大きな窪地となっています。以前は小川が流れ、江戸と郊外を分節する境界となっていました。大久保の地名の由来とも言われる、特徴的な地形です。



【5-2 大窪エリア】
大きな窪地に広がる住宅地

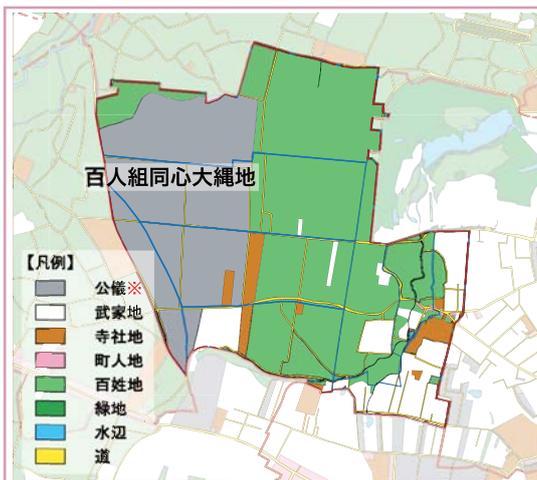
広がる戸塚台地

明治通りの西側には、平坦な戸塚台地が広がっています。そのため、やや単調なまちなみとなっていますが、幹線道路を境目としてそれぞれのエリアにまとまりあるまちなみが広がっています。



【5-5 大久保通り北エリア】
台地上に広がる独特のまちなみ

まちの記憶や文化



江戸時代末期の土地利用

※幕府直轄の施設用地。火除地や河岸などの他、同僚の御家人に一括して与えられた組屋敷地も含む。

大久保のつつじ園の記憶

江戸時代には、新宿一帯の防備のため鉄砲百人組同心が配備されました。しかし、戦がなかったので手柄を立てる機会もなく、生活を支えるためにつつじの栽培を始めました。明治時代には、いくつものつつじ園が開かれ、広く知られるようになりました。また、現在では新宿区の花となっています。



【5-6 大久保通り南エリア】
アジア系店舗が連なる路地空間

軍用施設と区画整理

明治時代には、陸軍戸山ヶ原射撃場が置かれた場所は、現在戸山公園となっています。また、歌舞伎町二丁目では、戦災復興でエリア全体の区画整理事業が行われました。

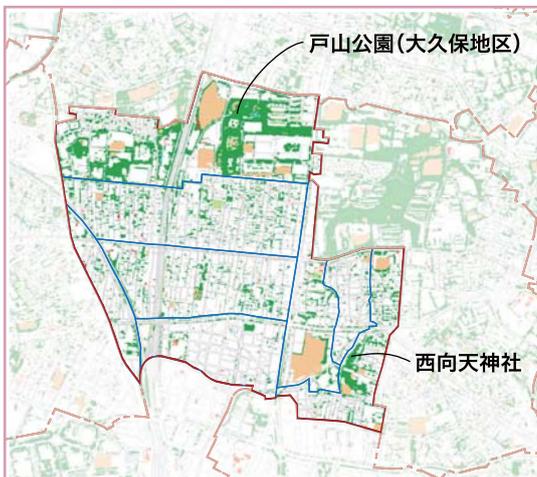


【5-7 歌舞伎町二丁目エリア】
整った街区に広がる華やかな繁華街

新大久保駅周辺の新たな賑わい

新大久保駅周辺では多国籍の雰囲気漂う景観が広がっています。

水とみどり



緑被現況分布図

戸山公園(大久保地区)の緑地

戸山公園は、まとまった緑地を地域に提供する大規模公園です。また、公園は、周辺の居住者や通勤・通学者の通り道として日常生活で使われています。



【5-4 戸山公園大久保エリア】
まとまったみどりと周辺の大規模施設群

寺社や斜面地のみどり

寺社や斜面地にはまとまったみどりがあり、地域に潤いを与えています。特に、西向天神社の一帯は豊かなみどりがあり、地域の憩いの場となっています。



【5-1 西向天神社エリア】
周辺地域に彩を与える斜面緑地

5-1 西向天神社エリア

エリアの西側には大きな窪地があり、そこから東側へ向かって斜面地、台地となっています。斜面地から台地にかけては、西向天神社が位置しており、歴史を感じさせるみどりが広がっています。また、台地上には、閑静な住宅地が広がっています。また、小規模な店舗の建ち並ぶまねき通り、緩やかな坂道で超高層ビル群を眺めることができる東京医大通りがあります。

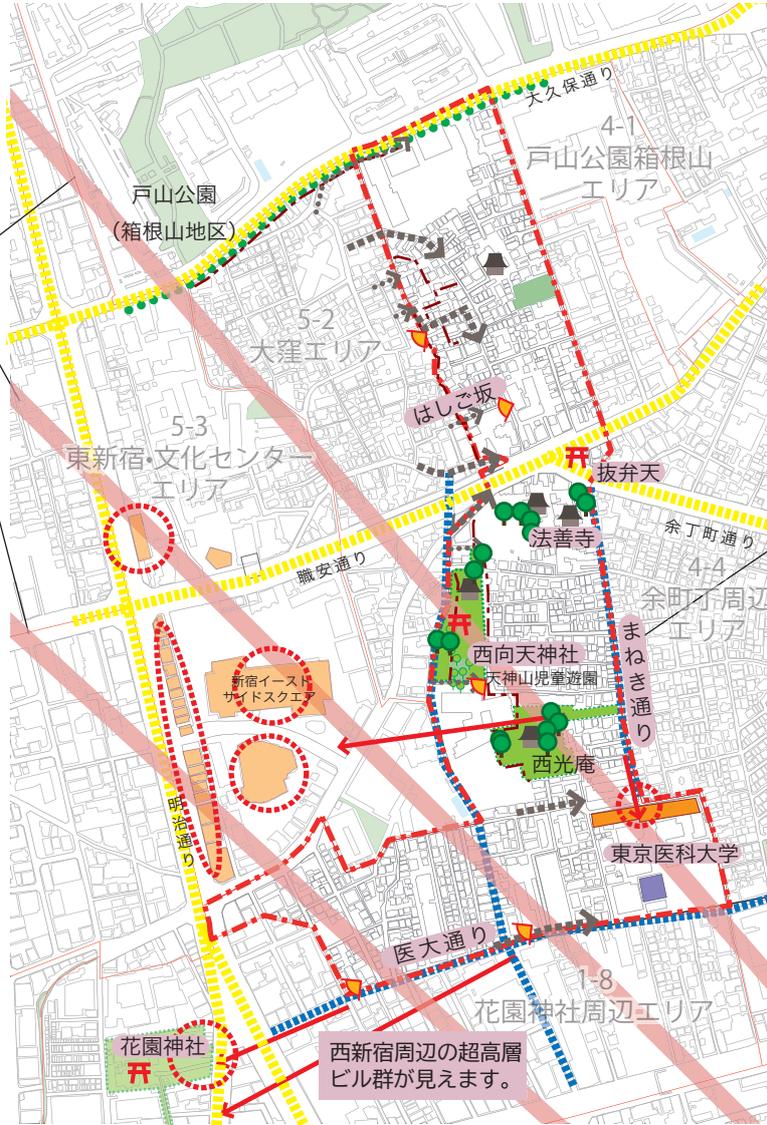


景観特性

明治神宮聖徳記念絵画館の眺望の保全に関する景観保全誘導区域

広域的な景観形成ガイドライン 2-7 明治神宮聖徳記念絵画館の眺望の保全に関する景観形成ガイドライン (P. 276) の内容に従う必要があります。

- 【凡例】
- 眺望点
 - 視線方向・重要な軸線
 - 神社
 - 寺
 - 公園
 - 地域を象徴する建築物
 - アイストップ
 - 主な保護樹木 (区みどりの条例)
 - 重要なみどり (一部保護樹木を含む)
 - 連続するみどり
 - まとまったみどり
 - 景観上重要な道路
 - 幹線道路
 - 坂道 (下から上)
 - 階段 (下から上)
 - 高層建築物
 - 崖線
 - エリア境界



抜弁天から東京医科大学まで約300mの直線道路は、150年以上も道幅が変わっておらず、その沿道には店舗が連なっています。



医大通りは坂道沿いに店舗の並ぶ景観が特徴です。花園神社のみどりがアイストップとなっています。



1. おもむきある西向天神社



古くから大久保の東地域の守り神として信仰を集めてきた神社です。江戸時代には、さくらの名所としても知られていました。現在も、神社の歴史あるおもむきと斜面地に位置する豊かなみどりは、まちなみに風格を与えています。

2. 台地上からの眺め



医大通商店会の坂上からは、超高層ビル群を眺めることができます。また、エリアの北側の台地上からは、窪地の住宅地や明治通り沿いの高層建築物などが折り重なる様子を一望にできます。

3. 日常生活を支える商店街



エリアの東端を通るまねき通り商店会は、道幅が150年以上も変わらず昔ながらの小規模な店舗が連なる商店街となっています。また、医大通り商店会は、起伏のある地形に店舗が連なっているのが特徴となっています。

寺社の雰囲気と調和した落ち着いた落ち着きと商店街の賑わいのまちなみへ

台地上からの眺めや寺社などの歴史的資源を活かして、落ち着いた住環境を保全していく。

景観形成の方針

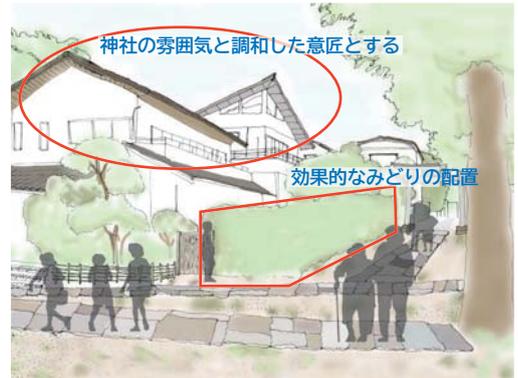
1. 寺社の雰囲気と調和した 台地上の落ち着いた住宅地の景観をつくる

景観形成の考え方

景観資源*である西向天神社や法善寺などの雰囲気と調和した落ち着きある住宅地の景観をつくる。

具体的な方策

- 西向天神社のまとまったみどりを保全する
- 神社の雰囲気と調和した落ち着いた形態意匠*及び色彩とする
- 外構*や植栽は寺社の雰囲気と調和させる
- 敷地内を積極的に緑化し、みどりの連続性に配慮する
- 安心感をもたらす落ち着いた照明計画とする



西向天神社と調和した住宅地の景観

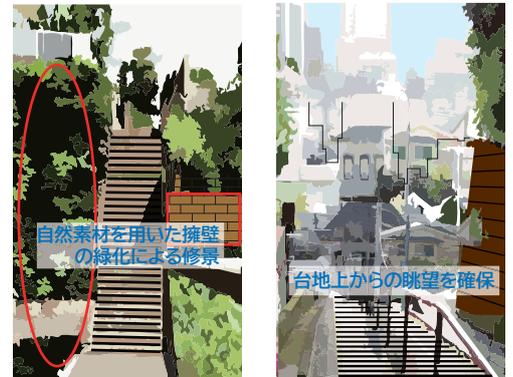
2. 斜面上からと斜面下からの眺めに配慮する

景観形成の考え方

西向天神社などの台地上からの眺めや、医大通り商店街等の坂道からの眺めに配慮した景観形成を図る。

具体的な方策

- 医大通り商店会沿いでは、坂上からの超高層ビル群の眺めを妨げない工夫をする
- 西向天神社などの周辺では、色彩や素材はみどりと調和した落ち着いたものとし、特に彩度*の高いものは避ける



見上げ・見下げの眺めに配慮する

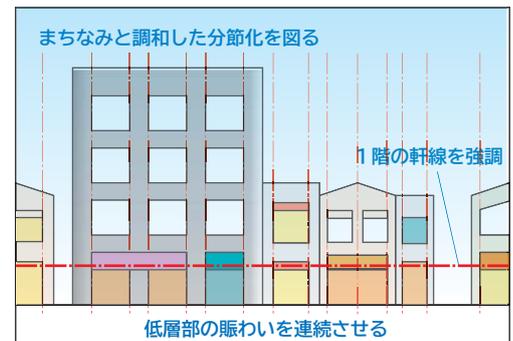
3. 商店街の賑わいあふれる景観をつくる

景観形成の考え方

医大通り商店会やまねき通り商店会は、周辺居住者の日常生活を支える商店街として、歩く人に快適な賑わい空間をつくる。

具体的な方策

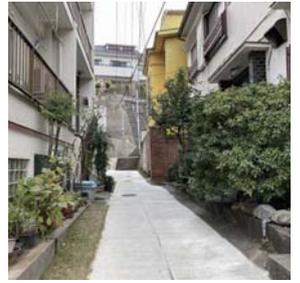
- 壁面の位置を揃え、まちなみの連続性に配慮したファサード*をデザインする
- 間口は現在の規模を継承するか、もしくは、分節化を図る
- 低層部*は、賑わいを感じられるような開放的な意匠*とする
- 夜間の賑わいを演出する照明計画とする
- まねき通り沿道では、低層部の賑わいを感じられるよう、1階の軒線を強調した意匠とする



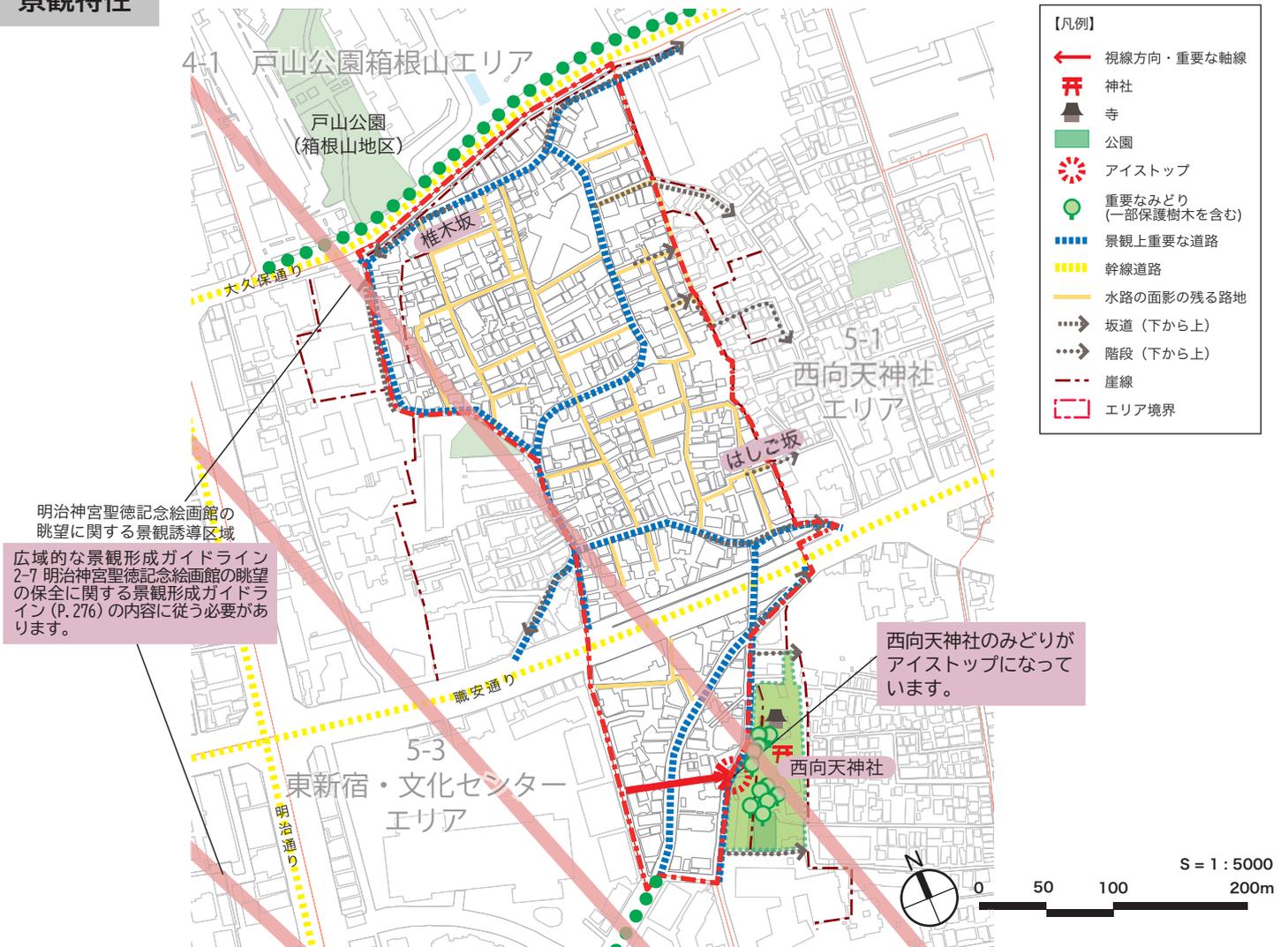
統一感と賑わいのある商店街の景観

5-2 大窪エリア

エリアの大部分は、神田川沿いの低地から伸びてきている窪地となっています。そのため、東西両側に斜面地があり、見上げる眺めが特徴となっています。また、江戸時代の用水路跡を通る道路などが、特徴的な道路基盤となっています。



景観特性



1. 窪地の住宅地



エリアの大部分は窪地であるため、周囲の喧騒から切り離され、まとまりある落ち着いた住宅地となっています。しかしながら低地であるため、台地上の高層建築物などの影響を受けやすくなっています。

2. 緩やかに曲がる用水路跡



江戸時代は百姓地で水田が多くあり、用水路が通っていました。その一部は今でも道路として残っており、沿道の建築物が折り重なる奥行きのある景観となっています。

3. 窪地からの見上げる眺め



エリア全体が窪地となっているため、エリアの外周部に対して常に見上げる景観となっています。特にエリア北側の大久保通り沿いでは、高低差が大きくなっています。

窪地の地形を活かした落ち着いた住宅地のまちなみへ

窪地形に位置するまとまりあるまちなみの路地や坂道、階段を活かしながら、落ち着いた住宅地の景観をつくる。

景観形成の方針

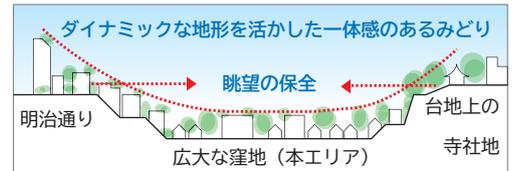
1. 窪地に位置する住宅地の落ち着いた景観をつくる

景観形成の考え方

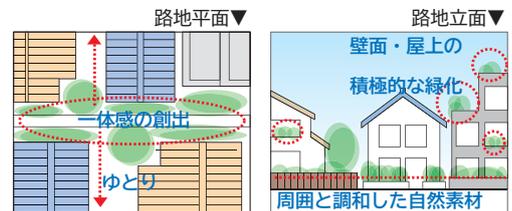
窪地の地形に位置し周囲の喧噪から切り離された住宅地の落ち着いた景観をつくる。

具体的な方策

- エリアに多く存在する路地景観を、身近なみどりがあふれる潤いのあるものとする
- 壁面の分節化を図り、長大な壁とならないよう配慮する
- 色彩や素材は、周囲の落ち着いた雰囲気と調和したものとする
- 垣・さくなどは生垣や自然素材のものとする
- 住宅のエントランスや植栽部分に暖かみのある照明を用い、安心感をもたらす落ち着いた夜間景観を創出する



▲広域断面



落ち着いた窪地の住宅地

2. 古くから使われている路地を活かした歩いて楽しい景観をつくる

景観形成の考え方

水路跡の蛇行する道路など特徴のある道路を活かし、歩いて楽しい景観をつくる。

具体的な方策

- 道路沿いには空地をとり、植栽帯を設ける
- 視線が集中しやすい道路の折れ曲がり部分や突き当たり部分などでは、積極的に緑化を行う



蛇行する路地を活かした景観

3. 坂道や階段を活かした景観をつくる

景観形成の考え方

エリアの外周を取り囲む斜面地にある坂道や階段を活かし、みどりあふれる景観をつくる。

具体的な方策

- 擁壁上部の垣・さくは高さを抑える
- 擁壁は周囲と調和し、圧迫感を与えないものとなるよう工夫する（壁面緑化を行う、自然素材を用いる、分節化を図る など）
- 坂道や階段沿いでは空地をとり、植栽帯を設ける
- 敷地内を積極的に緑化し、みどりの連続性に配慮する



斜面地を活かしたみどりあふれる景観

5-3 東新宿・文化センターエリア

明治通り沿いの、南北に細長いエリアです。地下鉄副都心線の開通や民間等の大規模な開発に伴い、賑わいや都心居住の拠点が創出されています。エリア内に立地する新宿文化センターは、「新宿区にも、日頃の音楽・舞踊・演劇等の練習の成果を発表する文化施設を建設して欲しい。」という区民の要望のもと、新宿区成立 25 周年を記念して建設された施設です。



景観特性



【凡例】

- 眺望点
- 視線方向・重要な軸線
- 公園
- アイストップ
- 神社
- 主な保護樹木 (区みどりの条例)
- 重要なみどり (一部保護樹木を含む)
- 連続するみどり
- 景観上重要な道路
- 幹線道路
- 坂道 (下から上)
- 景観上重要な交差点
- 大規模な敷地
- 高層建築物
- 崖線
- エリア境界



1. 文化センター通りをはじめとした落ち着いた落ち着いた通り



エリア内には高低差や曲道のある落ち着いた通りが多く存在します。文化センター通りは、江戸時代には用水路として使われ、その後都電が通っていました。現在では、街路樹が整然と並び落ち着いた沿道景観となっています。賑わい拠点の創出にあたっては、既存の落ち着いた雰囲気の調和が望まれます。

2. 高層建築物の連なり



このエリアは南北に明治通り、東西に職安通りが大きく貫いています。南北に通る明治通り沿いには、高層建築物が建ち並びほぼ揃ったスカイライン*となっています。しかし、その形態意匠*には統一感がなく、幹線道路の沿道にふさわしい統一感のあるまちなみの形成が望まれます。

3. 様々な規模が混在する景観



明治通り沿道には高層建築物が建ち並んでいますが、一步入ると低中層の建築物が並び住宅地もあり、混在した景観となっています。また、新宿六丁目西北地区では、大規模な再開発が行われ、まとまったみどりのある空間が整備されています。

賑わいの拠点と整然とした幹線道路沿道のまちなみへ

景観資源*である新宿文化センターや斜面緑地と賑わいの拠点が調和した景観をつくる。

景観形成の方針

1. 明治通りに賑わいと統一感のある景観をつくる

景観形成の考え方

ビジネスや交通の軸となる明治通り沿道においては、賑わいを創出するとともに統一感のある景観をつくる。

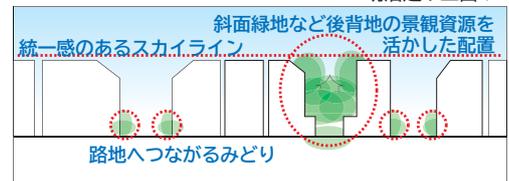
具体的な方策

- 壁面の位置の連続性に配慮する
- 周囲と調和した壁面の分節化を図り、長大な壁とならないよう配慮する
- 交差点の角地に位置する建築物は、まちなみのシンボルとなることを考慮した形態意匠とする
- 色彩や素材は、後背地の落ち着いた雰囲気と調和したものとする
- 住宅地側には空地をとり、積極的に緑化する
- 低層部*では透過性の高い素材を用いるなど歩行者目線を意識した賑わいを演出する
- 低層部の光をつなげ、連続して照明器具を設置する、窓面の漏れ光を連続させるなど、連続性のある夜間景観を創出する



▲明治通りと西向天神社を横断する断面

明治通り立面▼



後背地への配慮と景観資源の活用

2. 地形を活かした豊かなみどりと

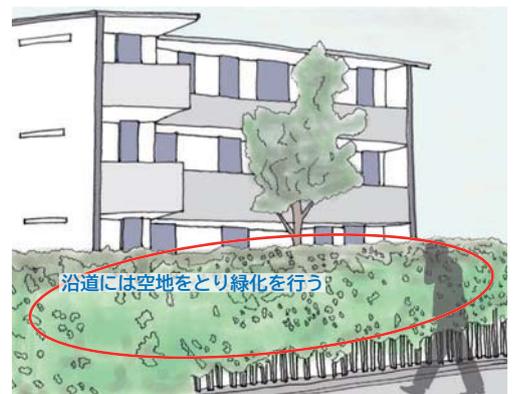
ゆとりが感じられる景観をつくる

景観形成の考え方

ゆるやかな高低差や奥行きを活かして、自然豊かな落ち着いた景観をつくる。

具体的な方策

- 既存樹木を保全する
- 壁面の位置は後退させ、道沿いにゆとりをつくる
- 垣・さくなどは生垣とする
- 擁壁は周囲と調和し、圧迫感を与えないものとなるよう工夫する（壁面緑化を行う、自然素材を用いる、分節化を図る など）
- 斜面地上では積極的に緑化を行う
- 落ち着いた雰囲気に調和する色彩や素材を用いる
- 夜間でも安心して通行できる落ち着いた照明計画とする



みどりとゆとりが感じられる景観

3. 大通りから人をひきこむつながりある景観をつくる

景観形成の考え方

明治通りや職安通りなどの大通りと、それらにつながる道路をみどりでつなぐ。

具体的な方策

- 大通りから見えるアイストップ*には開口部*を設け、内部の様子や雰囲気を感ぜられるようにする
- 再開発によるまとまったみどりを保全しつつ、エリア内の道路の沿道にもそのみどりを連続させる



文化センター周辺の景観

5-4 戸山公園大久保エリア

エリア東側の戸山公園は、明治時代には陸軍戸山ヶ原射撃場でした。現在その周辺には、学校や都営住宅、区営住宅などの大規模施設群によるまちなみが広がっています。また、線路を挟んで西側には、西戸山公園や百人町ふれあい広場などの大規模な公園のほか、敷地規模の整った住宅地が広がっています。



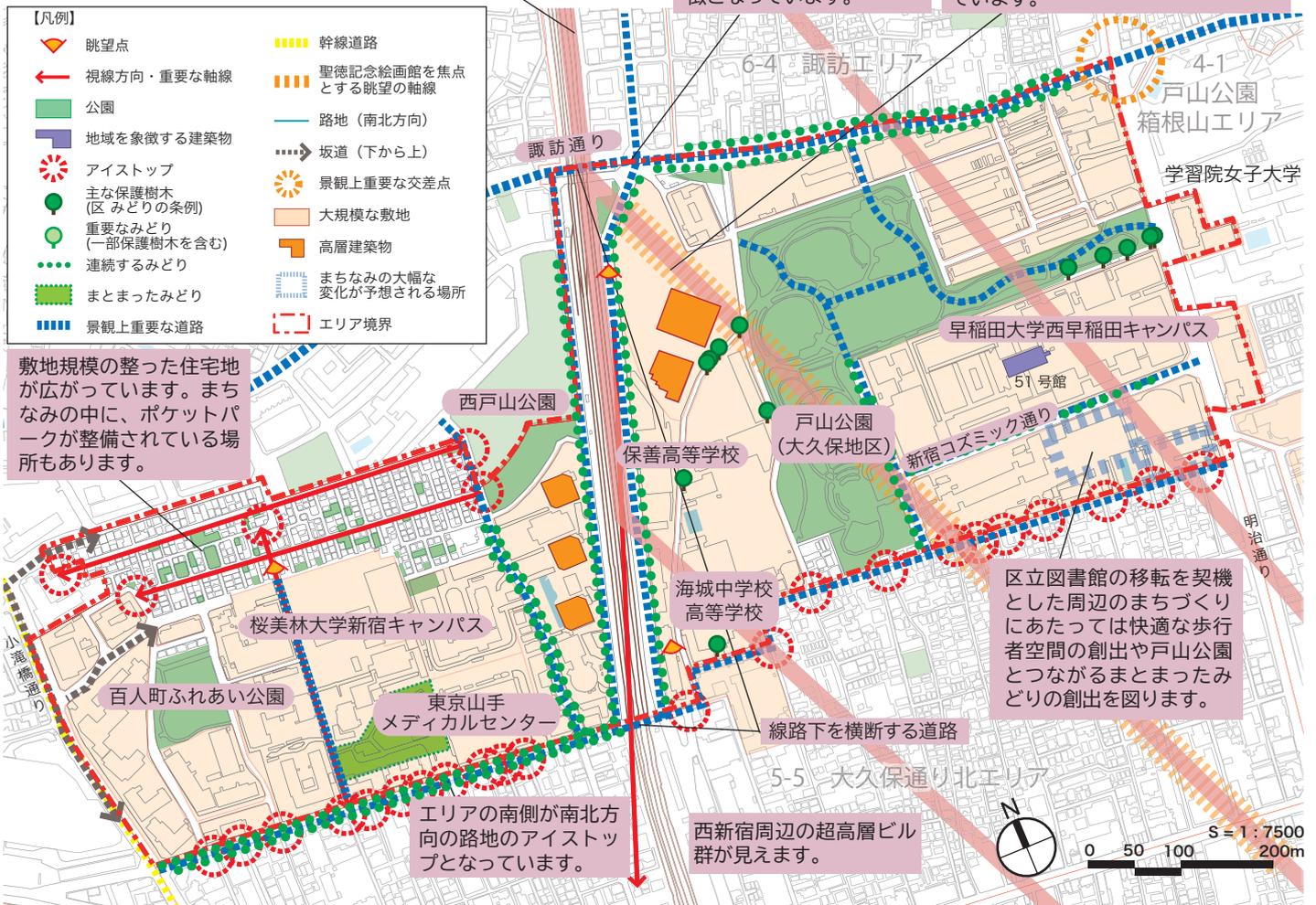
景観特性

広域的な景観形成ガイドライン 2-7 明治神宮聖徳記念絵画館の眺望の保全に関する景観形成ガイドライン (P.276) の内容に従う必要があります。

明治神宮聖徳記念絵画館の眺望の保全に関する景観保全誘導区域

諏訪通りと線路が交差する大久保スポーツプラザ入口交差点周辺は地形の起伏も大きく、立体的な景観が特徴となっています。

戸山公園と西戸山公園をつなぐまとまったみどりの創出と、絵画館の眺望景観に配慮した、賑わい・交流、業務、都心居住等の拠点が形成されています。



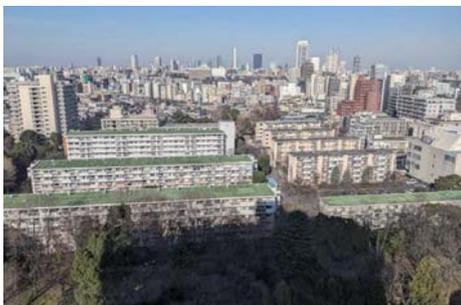
敷地規模の整った住宅地が広がっています。まちなみの中に、ポケットパークが整備されている場所もあります。

エリアの南側が南北方向の路地のアイストップとなっています。

区立図書館の移転を契機とした周辺のまちづくりにあたっては快適な歩行者空間の創出や戸山公園とつながるまとまったみどりの創出を図ります。

西新宿周辺の超高層ビル群が見えます。

1. 大規模施設群



エリア内には学校や都営住宅、区営住宅、オフィスビルなどの大規模施設群によるまちなみが広がっています。戸山公園のみどりとなげ、その周囲を歩く人に対して、快適さや楽しさを提供するような配慮が望まれます。

2. みどりで包まれた歩行者空間



戸山公園は周辺で生活する人にとって、憩いの場となっているだけでなく、歩行者動線としても使われています。みどり豊かな公園内の通路は、気持ちよく歩くことができます。また公園の周辺においても、快適な歩行者空間の創出が必要です。

3. 線路の東西をつなぐみどりの連続



エリアの中央を貫く線路によって、エリアの東西は分断されていますが、線路沿いのフェンスの緑化などにより統一感が生まれています。今後は、東西のつながりを強くするため、動線である線路下などでもみどりを連続させる配慮が必要です。

戸山公園と大規模施設群を中心としたみどり豊かなまちなみへ

大規模施設群や戸山公園と周辺のまちなみが一体となって、豊かなみどりが広がるまちなみをつくる。

景観形成の方針

1. まちに溶け込む大規模施設群の景観をつくる

景観形成の考え方

学校・住宅・公園・オフィスビル等による大規模施設群のまちなみを、歩く人の視点で潤いある快適なものにしていく。

具体的な方策

- 壁面の分節化を図り、長大な壁とならないよう配慮する
- 色彩や素材は、周囲と調和した落ち着いたものとする
- 道路沿いには十分な広さの空地を設け、樹木や草花などにより、歩行者にとって明るく潤いのある景観をつくる
- 屋上緑化や壁面緑化を積極的に行う
- 大規模施設は戸山公園からの空への眺めに対し、圧迫感を軽減する



地域に開かれた大規模施設群の景観

2. 散策したくなる魅力的な歩行者空間をつくる

景観形成の考え方

戸山公園周辺の道路沿いにおいては、歩く人に快適な魅力的な景観をつくる。

具体的な方策

- 色彩や素材はみどりと調和した落ち着いたものとし、特に彩度*の高いものは避ける
- 戸山公園周辺の道路沿いでは、歩道と連続した歩行者空間をつくり緑化を行う
- 植栽の高さや密度などに配慮し、適度な見通しや開放感を確保する
- みどりのライトアップなど地域資源を活かした夜間景観を創出する



みどりと調和した魅力的な歩行者空間

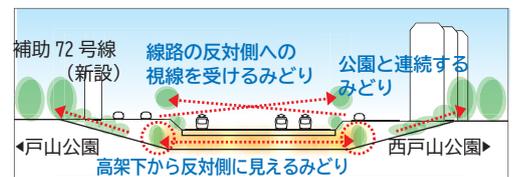
3. 線路の東西がみどりでつながる景観をつくる

景観形成の考え方

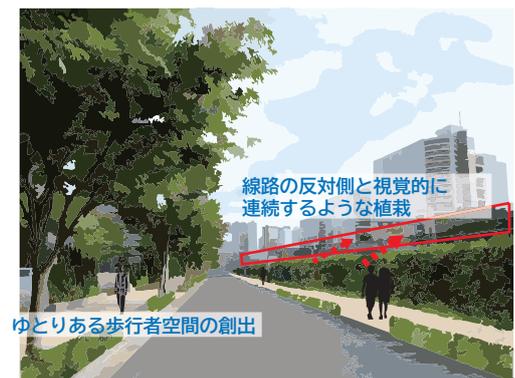
エリアを南北に縦断する線路沿いや、線路下を横断する道路を連続するみどりでつなげる。

具体的な方策

- 線路沿いには空地をとり、並木や生垣等で連続する緑化を行う
- 線路下の道路の出入り口を草花等で緑化し、明るく潤いのある景観をつくる
- 線路下の道路は、暗くならないよう十分な照明を設置する
- みどりは線路沿い一帯で統一感を持たせ、植栽の高さ、密度などに配慮し、歩きやすい歩行者空間をつくる



線路の東西をつなぐ連続するみどり



補助72号線沿いでは積極的に緑化を行う

5-5 大久保通り北エリア

北側では、落ち着いた住宅地の雰囲気となっており、徐々に南側へ行くと大久保通り周辺の多国籍の雰囲気が濃くなってきます。また、エリアの東側はもともと西大久保村であり、田畑が広がる百姓地でした。西側は、鉄砲百人組同心の住む大縄地であり、つつじの名所として知られていました。



1. 短冊状の道路基盤



江戸時代からほぼ変わらない、短冊状の道路基盤が特徴となっています。そのため、まともにはあるものの、やや単調な景観となっています。エリア全体に低中層の住宅地が広がっており落ち着いた景観となっています。

2. 落ち着きある路地景観



南北方向の幅員の狭い道路沿いは、落ち着きある住宅地となっています。その道路をつなぐ東西方向の短い路地には、アイストップ*となる場所が多く存在しています。こうした場所では、緑化などによる景観への配慮が必要です。

3. 多国籍の雰囲気



大久保通り沿いでは、多国籍の雰囲気が漂う小規模な店舗が集まっています。その雰囲気は、大久保通り沿いのみでなく、周辺の住宅地にも広がっており、生活に根差した国際色豊かな景観が感じられるエリアとなっています。

戸建住宅と低中層建築物が調和したみどり豊かで落ち着いたまちなみへ

江戸時代から受け継がれてきた南北に細長い道路基盤を活かし、路地沿いにつつじを活かしたみどり豊かなまちなみをつくる。

景観形成の方針

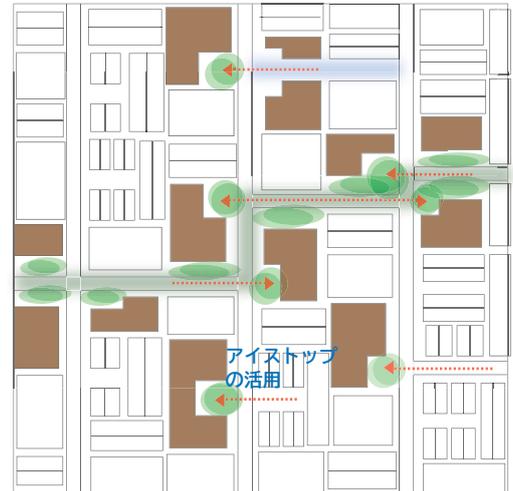
1. 落ち着いた住宅地の景観をつくる

景観形成の考え方

短冊状に規則正しく並ぶ特徴的な道路基盤を活かし、落ち着いた住宅地の景観をつくる。

具体的な方策

- 壁面の位置は後退させ、道沿いにゆとりをつくる
- 垣・さくなどは生垣とする
- 暖かみがあり落ち着いた照明を用い住宅地の夜間景観を創出する



短冊状街区*の特性を活かした効果的な緑化

2. 身近なみどりがあふれる路地景観をつくる

景観形成の考え方

つつじ園の広がっていた歴史を活かし、エリアに多く存在する路地景観を身近なみどりがあふれる潤いのあるものとする。

具体的な方策

- 道路沿いではつつじなどによる連続的な緑化を行う
- アイストップとなる部分では、建築物の意匠*的な配慮を行うか、または中高木の植栽を行う



身近なみどりがあふれる景観

3. エリアを特徴づける幹線道路の景観をつくる

景観形成の考え方

多国籍な雰囲気や漂う大久保通りや補助72号線沿いでは、それぞれの特徴を活かした幹線道路の景観をつくる。

具体的な方策

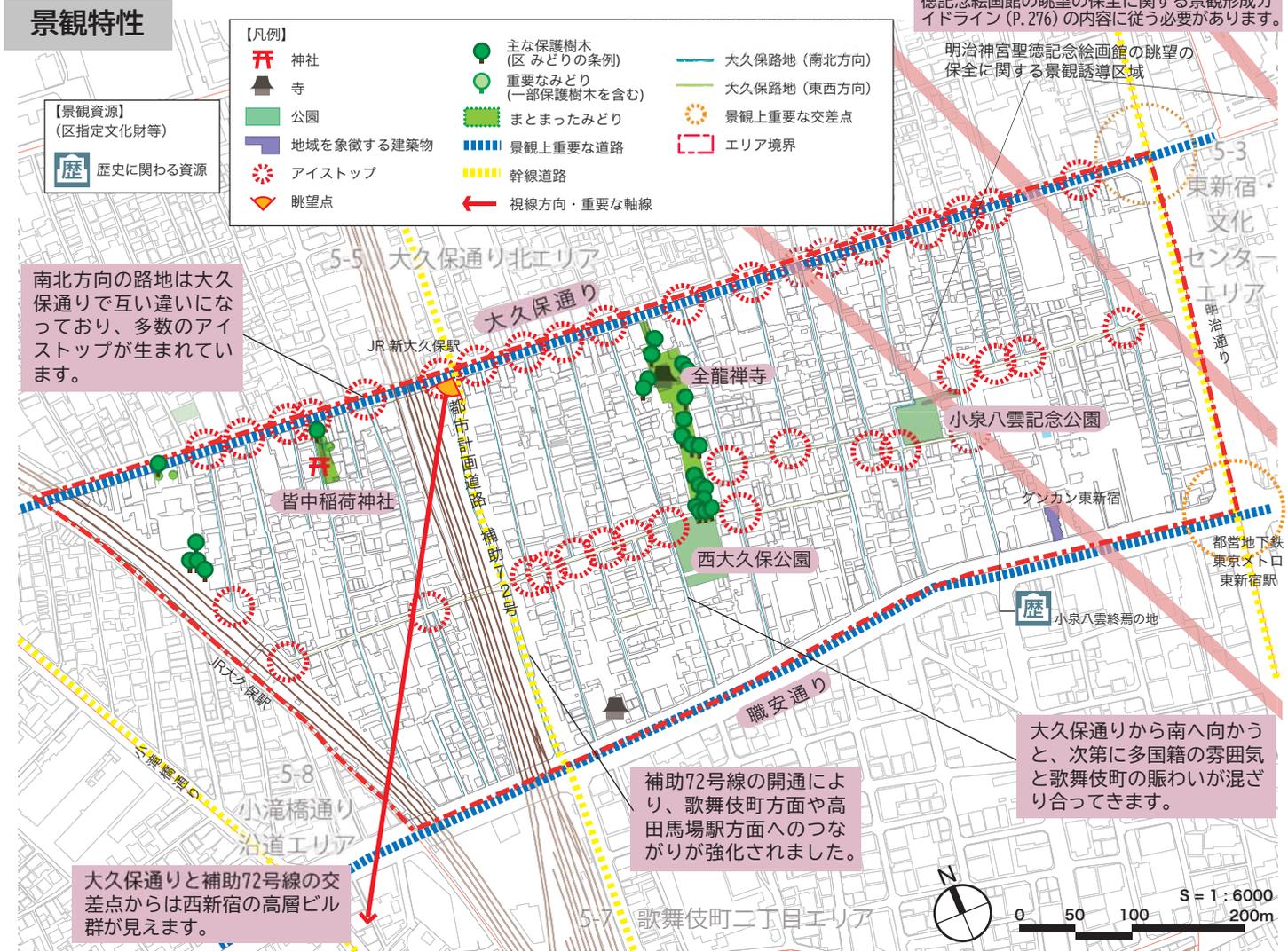
- 大久保通り沿いでは、低層部*の賑わいを感じられるような開放的な意匠とする
- 大久保通り沿いでは、多国籍な雰囲気や賑わいなどの特性を活かした形態意匠*及び色彩とする
- 補助72号線沿いでは道路沿いに空地を設けて積極的に緑化を行うなど、沿道沿いの敷地と一体となった歩きやすい歩行者空間を創出する
- 幹線道路の賑わいが住宅街の落ち着きを損なわないよう、照明計画や屋外広告物*の掲出に配慮する



低層部の賑わいあふれる店舗の連なり

5-6 大久保通り南エリア

周囲を幹線道路と JR 線に囲まれ、また、エリアの西部を線路が貫いています。多国籍の雰囲気エリア全体の特徴となっており、特に、南側へ行くほど繁華街の要素が色濃くなり、賑やかな景観となっています。また、エリア内には小泉八雲記念公園や皆中稲荷神社、全龍禅寺などの寺社もあり、様々な要素が混在する景観となっています。



1. 多国籍の雰囲気



大久保通り沿いには、多国籍の雰囲気が漂う小規模な店舗が集まっています。また、職安通り沿いには、高層建築物の間に大規模な店舗が点在し、その雰囲気は幹線道路沿いのみでなく、その間の住宅地にも広がっています。

2. 住宅地と混じり合う賑わいの景観



幹線道路沿いの賑わいは、住宅地の中にも入り込んできています。そこでは、住宅と並んで飲食店やホテル等が建ちならんでいます。

3. 落ち着いた路地景観



南北方向の道路は、幅員も狭く落ち着いた住宅地景観となっています。その道路をつなぐ東西方向の短い路地には、アイストップ*となる場所が多く存在しています。こうした場所では、緑化などによる景観への配慮が必要です。

多国籍な雰囲気と落ち着いた住宅地が共存するまちなみへ

大久保通りから広がる多国籍な雰囲気と、住環境とが調和したまちなみをつくる。

景観形成の方針

1. 多国籍な雰囲気を活かした景観をつくる

景観形成の考え方

アジアを中心とする多国籍な店舗が集積した独特の雰囲気を活かした景観をつくる。

具体的な方策

- 壁面の位置を揃え、周囲のまちなみとの調和を図る
- 低層部*は賑わいを感じられるような開放的な意匠*とする
- 低層部の外壁や袖看板等の色彩は、周囲と調和したものとする



大久保の多国籍な景観

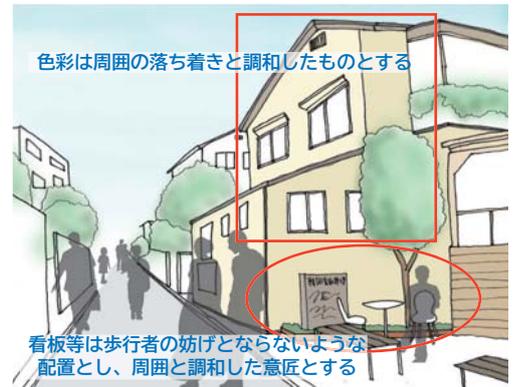
2. 住宅地とその中に混在する賑わい施設が調和した景観をつくる

景観形成の考え方

短冊状に規則正しく並ぶ特徴的な道路基盤を活かし、住宅地の中に小規模の商業施設が混在しながらも、全体として調和した景観をつくる。

具体的な方策

- 色彩や素材は、周囲の落ち着いた雰囲気に調和したものとする
- 道路沿いは樹木や草木などにより、歩行者にとって明るく潤いのある景観をつくる
- 大久保通り沿いでは、多国籍な雰囲気や賑わいなどの特性を活かした形態意匠*及び色彩とする
- 幹線道路の賑わいが住宅街の落ち着きを損なわないよう、照明計画や屋外広告物*の掲出に配慮する



住商が混在しながらも調和した景観

3. 身近なみどりがあふれる路地景観をつくる

景観形成の考え方

つつじ園の広がっていた歴史を活かし、エリアに多く存在する路地景観を身近なみどりがあふれる潤いのあるものとする。

具体的な方策

- 道路沿いでは、つつじなどによる連続的な緑化を行う
- アイストップとなる部分では、建築物の意匠的な配慮や緑化を行う

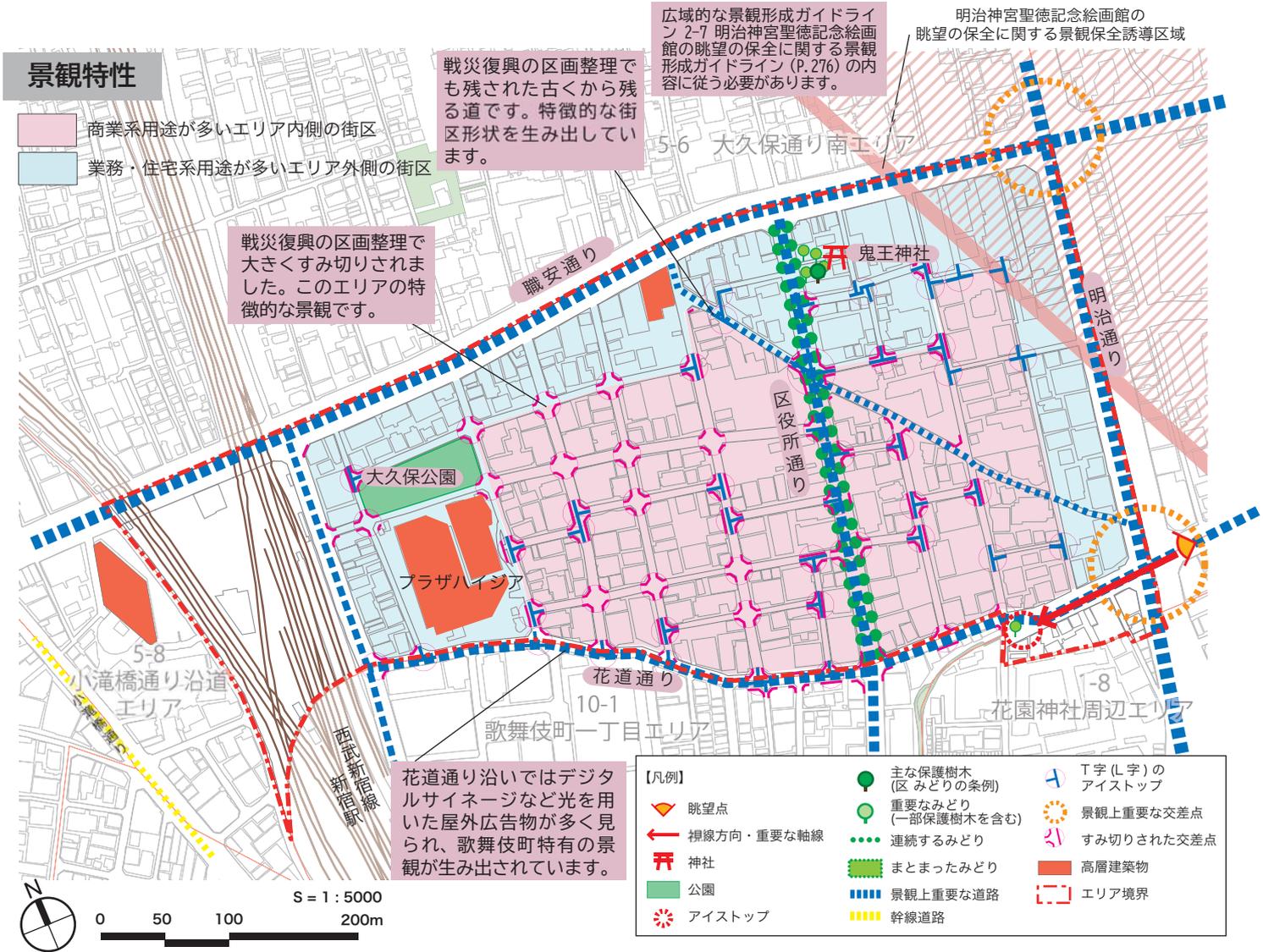


身近なみどりがあふれる景観

5-7 歌舞伎町二丁目エリア



世界的にも有数の、娯楽・歓楽街となっているエリアです。江戸時代は、百姓地であり田畑が広がっていました。第二次世界大戦では一面焼け野原となったものの、戦災復興でエリア全体の区画整理事業が行われ、整った道路基盤が特徴となっています。南側は窪地形となっているため、エリア全体が南側に向かって下がる緩やかな斜面地となっています。



1. 歩いて楽しめるまち



昭和53(1978)年の町名改正で、西大久保一丁目でした。歌舞伎町一丁目と同じく娯楽・繁華街であるものの、その景観は若干異なっています。特に花道通り沿いやエリアの東側では、様々な趣向を凝らした夜間照明やデジタルサイネージ*が特徴的な、賑わいのある景観が形成されています。

2. 整った道路基盤と古くからの道



エリア全体において、戦後区画整理事業が行われたこともあり、整った道路基盤が特徴となっています。そして、江戸時代から残る斜めに横切っている道路が、変化のある景観を創出しています。

3. 特徴的な都市構造



エリアの周囲には幹線道路が通っています。北側を通る職安通りは多国籍の雰囲気がある景観、東側を通る明治通りは高層建築物が建ち並ぶ景観、エリア中央を通る区役所通りは街路樹が並ぶ潤いある景観となっています。また、このエリアは、業務・住宅系が多い外側の街区*と、商業系が多い内側の街区に分けられます。

歌舞伎町らしさを保ちつつ、誰もが歩いて楽しめるまちなみへ

戦後の戦災復興区画整理事業を経て、繁華街として一時代を画した歌舞伎町を新しい時代の繁華街として再生させる。

景観形成の方針

1. 楽しく歩ける「歌舞伎町」の景観をつくる

景観形成の考え方

「歌舞伎町」の雰囲気を楽しめるような工夫と、快適な歩行者空間をつくる。

具体的な方策

- 広告物や建築物の形態意匠*は、周囲との調和を図る
- 花道通り沿いなどのエリア内側の街区の照明は、華やかな賑わいを連続させ、歌舞伎町らしさを演出する
- 住宅や事務所が多いエリア外側の街区では、周囲の賑わいを損なわない照明計画とする



歩いて楽しめるまち

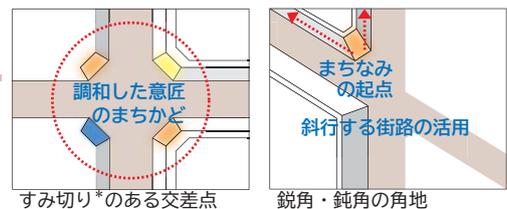
2. 整った道路基盤を活かした景観をつくる

景観形成の考え方

江戸時代から残るエリアを斜めに横切る道路と、区画整理により整った道路基盤を活かした景観をつくる。

具体的な方策

- 鋭角の角地などのアイストップ*となる場所では、積極的にまちに対して楽しさを提供する
- 壁面の位置の連続性に配慮する
- 壁面の分節化を図り、長大な壁とならないよう配慮する
- コーナー部に面した場所には、エントランス等開口部*を設ける
- コーナー部に面した建築物の各面は、調和した意匠*とする



すみ切り*のある交差点

鋭角・鈍角の角地

街区形状を活かし街に楽しさを提供する

3. 幹線道路沿道では賑わいあふれる

まちなみと快適な歩行者空間をつくる

景観形成の考え方

エリアの外周に位置する職安通りや明治通り、中央を南北に貫く区役所通りでは、みどり豊かで快適な歩行者空間をつくる。

具体的な方策

- 職安通りでは、多国籍な雰囲気を活かし、低層部*は賑わいを感じられるような開放的な意匠とする
- 区役所通り沿いでは、落ち着いた形態意匠及び色彩とし、積極的に緑化を行い快適な歩行者空間をつくる
- 神社の周囲では、落ち着いた形態意匠及び色彩とする
- 明治通り沿いでは、オフィス街にふさわしい落ち着いた形態意匠及び色彩とする
- 低層部やエントランス部分の照明により夜間でも快適な歩行者空間を創出する



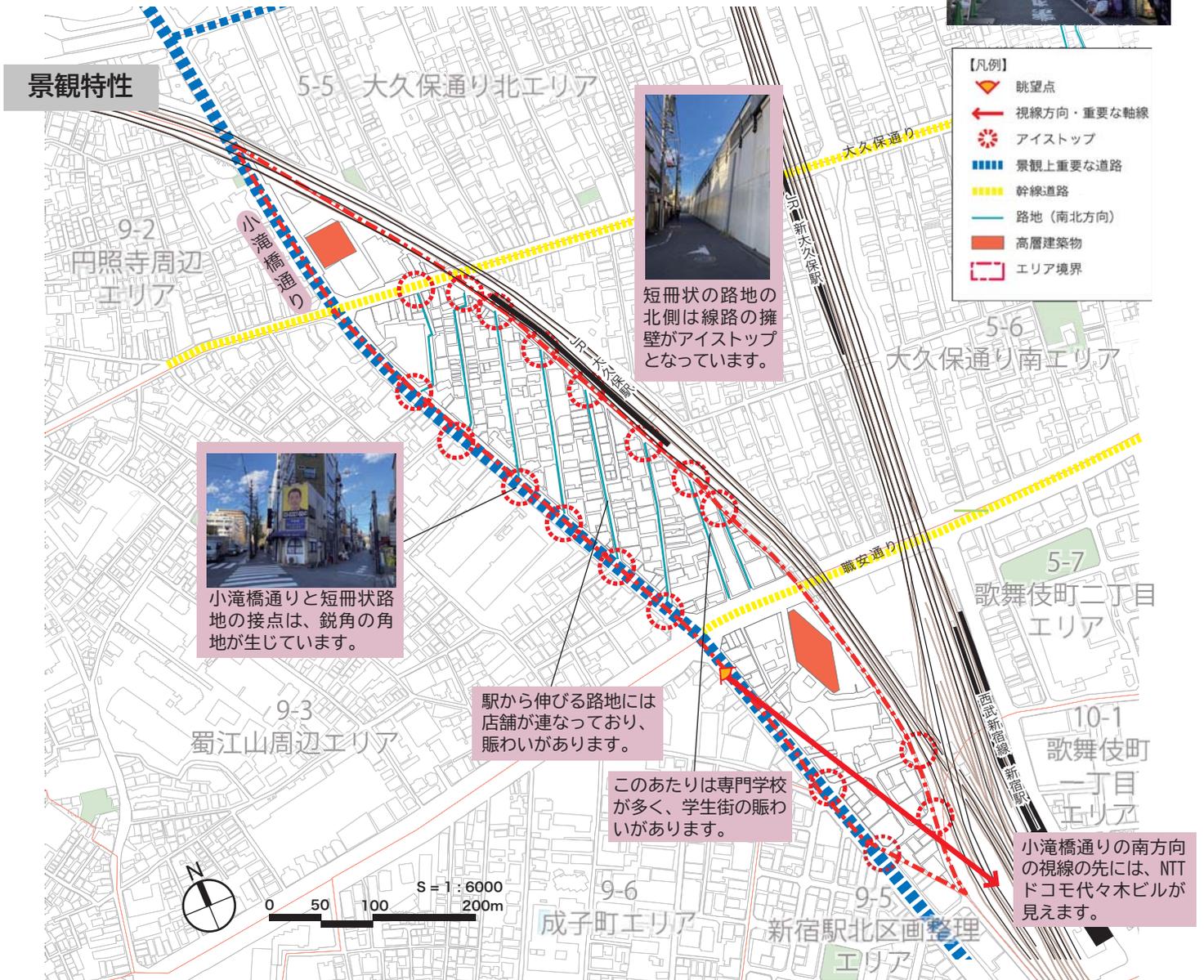
夜間でも快適な歩行者空間



鬼王神社周辺の景観

5-8 小滝橋通り沿道エリア

JR線と小滝橋通りに挟まれたエリアです。エリアの北側は、江戸時代には鉄砲百人組同心の住む大縄地であり、その特徴的な街路形状は現在も残っています。またエリアの南側には、周辺で働く人の生活を支える飲食店が建ち並び賑わいあふれる景観となっています。



1. 大久保駅周辺の景観



新大久保駅から大久保駅へ行くにしたがい、独特の多国籍の雰囲気は薄れていきます。大久保駅周辺の賑わいを創出していくことが必要です。

2. 小滝橋通り沿いの景観



百人町の短冊状の道路が小滝橋通りで斜めに交差しており、鋭角の角地が通り沿いに生じています。通り沿いには高層建築物が建ち並んでいますが、道路基盤に従い適度に分節されたものとなっています。

3. 路地からの眺め



東西に並ぶ短冊状の路地から南側を眺めると、超高層ビル群が望めます。また、北側には線路の擁壁があり、その眺めは殺風景なものとなっています。緑化等による、圧迫感の軽減が必要です。

小滝橋通り沿いに広がる賑わいあふれるまちなみへ

JR 大久保駅や線路と小滝橋通りをつなぐ細長い路地が並んだ特徴的な道路基盤を活かし、個性的で賑わいあふれる景観をつくる。

景観形成の方針

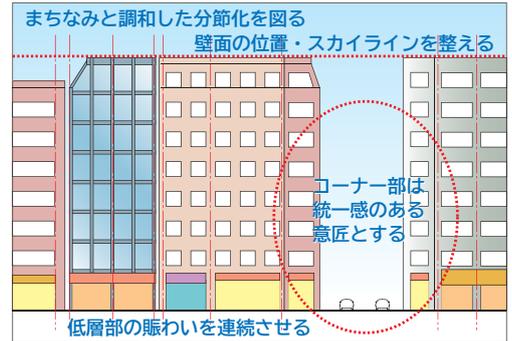
1. 多様な用途が調和した賑わいあふれる景観をつくる

景観形成の考え方

各種学校や店舗、オフィスなど多様な用途が混在しているが、全体として調和した賑わいあふれる景観をつくる。また、JR 大久保駅周辺では、特に賑わいあふれる景観を創出していく。

具体的な方策

- 壁面の位置を揃え、周囲のまちなみとの調和を図る
- 周囲と調和した壁面の分節化を図り、長大な壁とならないよう配慮する
- 低層部*は賑わいを感じられるような開放的な意匠*とする
- 低層部の外壁の色彩や袖看板等の色彩は周囲と調和したものとする
- 低層部の賑わいを創出しつつ安心感のある照明計画とする



多様な用途の建築物が混在する道での景観づくり

2. 小滝橋通り沿いに賑わいあふれる景観をつくる

景観形成の考え方

小滝橋通り沿いの鋭角の角地を活かして、個性的なまちなみをつくる。

具体的な方策

- 鋭角の角地はまちなみのシンボルとなることを考慮した形態意匠*とする
- 角地に位置する場所では目立つことに配慮し、コーナーの意匠を工夫する



角地を活かした個性的なまちなみをつくる

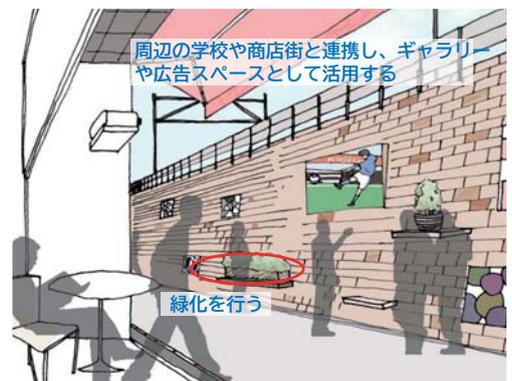
3. 特徴的な細長い路地を活かした景観をつくる

景観形成の考え方

線路と小滝橋通りに挟まれた南北方向に細長い路地の特徴を活かした景観をつくる。

具体的な方策

- 袖看板等は、西新宿の超高層ビル群への眺めを阻害しないような工夫をする
- アイストップ*となる線路沿いの擁壁は、緑化や素材の工夫で圧迫感を軽減する
- 道路沿いを積極的に緑化する



長大な擁壁を修景*する